

ルサ川における河川改修について(報告)

羅臼町役場産業創生課

- ・令和5年(2023年)1月28日開催の令和4年度第2回河川工作物アドバイザー会議において、ルサ川の「河川改修の方向性について」の説明をした。
- ・令和5年(2023年)7月18日、現地確認及び令和5年度第1回河川工作物会議において、再度「河川改修の方向性について」の再確認をし、①左岸側の浸食を可能な限り自然の材料を使って抑える。②現状で形成されているサケやその他生物の生息・繁殖環境を可能な限り保全する。③右岸側で環境省が整備する園地とのつながり、整合性、安全性、親水性に配慮して実施することの3点を確認した。また現地を見てもらった上で、平面図、横断図、木杭バープ図を提示して、委員のご意見をいただいた。
- ・令和6年(2024年)1月から2月にかけて、第1回目の改修工事を実施し、令和6年12月から令和7年2月にかけて2回目の改修工事を実施した。実施に当たっては、国立公園特別地域内における土地の形状変更許可を環境省から得ている。
また、施工時期については、羅臼漁業協同組合などと協議して、サケマスの遡上時期等への影響の少ない時期に設定している。
- ・この2回の改修工事で当初予定していた施工と、委員各位のご意見のうち反映できる要素は反映させたつもりではあるが、最初の改修工事後から現在に至るまでに、目立った河川の増水が無かったことから、バープ工法の効果を確認できずにいる。
今後増水が発生して修正が必要となった場合に備えて、来年度も若干の予算は用意しているが、施工の効果を確認できない状況が続いた場合には、数年のモニタリングが必要となる可能性もある。
- ・上記③の園地整備との整合性については、環境省の整備が当初計画から大きく遅れており、同時並行で相乗効果を得るといふより、河川改修を先行せざるを得ない状況となっている。
- ・上記2回の改修工事は、羅臼町役場が地元業者と契約を結び実施し、いずれも(株)北海道技術コンサルタントのシステムデザイン室アドバイザー技師長である岩瀬晴夫氏の技術指導のもとに施工した。

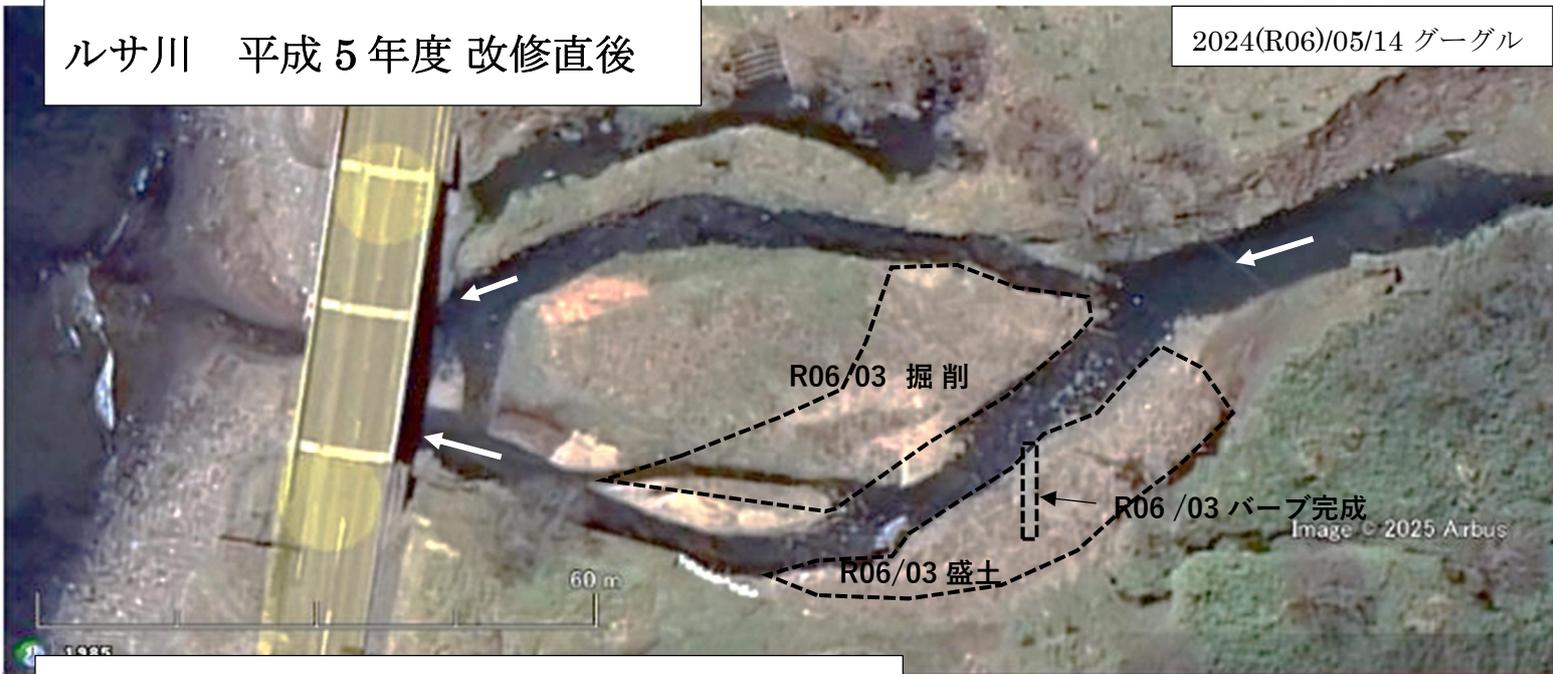
ルサ川 改修 1.5 年前

2022(R04)/09/22 グーグル



ルサ川 平成 5 年度 改修直後

2024(R06)/05/14 グーグル



ルサ川 平成 5 年度 改修完成 4 ヶ月後

2024(R06)/07/25 道技コン

